

Korean Summer Session

経済学部国際経済学科 2回生 須谷佳苗

Korean Summer Sessionに参加して、多くのことを学び、経験することができました。このプログラムには、全国の様々なところから大学生が参加していて、東亜大学の学生スタッフたちのアシストによって、韓国の文化や生活について学びました。そこでの生活やアクティビティーについて紹介したいと思います。

0日目

プログラムが始まる1日前に入寮できるので、1日前に釜山に到着しました。釜山空港に着くと韓国人のスタッフたちがすでに迎えに来てくれていました。そこから、学校までタクシーで移動し、学校近くのお店にミルミョン（冷麺みたいなもの）を食べに連れて行ってくれました。夜は、すでに到着しているみんなでチキンを食べに行きました。韓国料理は辛いものが多いので、食べられるか心配していましたが、辛くないものもあったので、辛いものが苦手な私でも大丈夫でした。



1日目

この日は、朝からオリエンテーションと東亜大学のキャンパスツアーがありました。お昼はプログラムから提供されたもので、ビュッフェを食べに行きました。どれもおいしかったです。午後からは、シティーツアーに出かけました。「南浦ドン」（ここは学校からも近いので、後日も何度か行きました。）というところの繁華街に行き、韓国の街を楽しみました。ここには、服、コスメ、靴、雑貨、食べ物などお店がいっぱい立ち並んでいて、なんでも必要なものをそろえることができます。この日も若者や観光客でにぎわっていました。



2日目

この日から韓国語の授業が始まりました。授業は基本的に平日の9時～12時です。授業は初日のオリエンテーションで行った簡単なテストによって、初級・中級・上級の3つにクラス分けされていました。韓国語が全くできなくても大丈夫ですし、韓国語が得意で上達させたい人も上級クラスに行けば、自分に合ったペースで韓国語を学ぶことができます。午後からは、韓国料理を作る体験をしました。班ごとに協力してチジミを作って食べました。食べ終わったら、学校に戻って、あとは自由時間でした。寮は基本的に1時に締まるので、それまでに帰れば大丈夫です。南浦ドンに遊びに行ったり、学校の近く（学校の周りは食べ物屋さんがいっぱいあるので結構遊べます。）で遊んだり、寮で休憩したり、時間の使い方は人それぞれです。



3日目

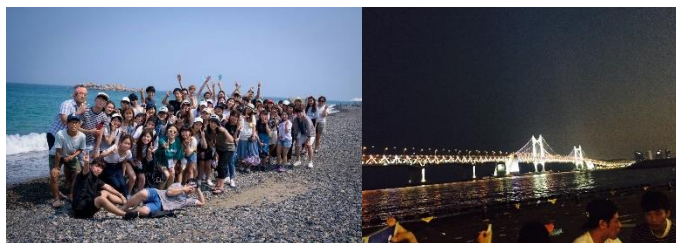
この日も朝から韓国語の授業でした。先生はとても優しく、フレンドリーですし、少しでも日本語がわかるので、わからない時は日本語で話せます。授業は、ゲームなども取り入れながら楽しく韓国語を学びました。お昼は、チゲ（鍋）を食べに行きました。少し辛かったですが、おいしく頂きました。午後からは、文化体験で「サムルノリ」をしに行きました。サムルノリとは、韓国の伝統的な楽器を使った音楽で、それに合わせて演奏したり、踊ったりします。この日の夜は、初めてみんなでお酒を呑みに行きました。チゲを食べながらみんなで楽しく呑みました。ここで初めて全員で食事に行ったので、いろんな人と話すことができ、韓国人も日本人も関係なく、一気に距離が縮まりました。



4日目

この日の授業は昨日の授業でゲームに勝ったので、先生が全員分ジュースを買ってきて

くれました。午後は、釜山にある海雲台という海に行って、海洋スポーツ体験をしました。サーフィンやボートなど様々な海洋スポーツをしました。その日の夜は、海雲台で夜景を見ながら、外でチキンを食べました。みんなではしゃいでとっても楽しかったです。帰りはみんな暑さでへとへとでした。



5日目

この日から1泊2日で慶州という韓国の古い文化や建物が残っている地域に宿泊しました。ここでのホテルもとてもきれいでご飯もとてもおいしかったです。周りにお店はほぼなかったので、ここでお土産を買うことはできません。この日は、ウォーターパークに行く予定でしたが、急遽、フィールドワークに変更になり、釜山で有名なお寺をめぐるしました。夜は、ホテルの大きい会場でレクリエーションをしました。その日のうちに各班1つずつ出し物を準備しました。K-popダンスや歌を披露したり、韓国人のスタッフたちもいろいろなゲームを用意してくれたりして、とても盛り上がりました。



6日目

この日は午前にはディベアミュージアムに行きました。みんなで写真を撮ったり、3Dシアターを見たり、とても楽しかったです。その日は帰ってから自由時間で、韓国人のスタッフが焼き肉を食べに連れて行ってくれました。



7日目

この日は1日中、自由時間でした。南浦ドンに行って、買い物をしたり、ソルビン（韓国のかき氷）を食べに行ったりしました。そのあと、学校から少し離れたソミョンという繁華街に遊びに行きました。カカオフレンズのショップやデパートがあってとても楽しめました。



8日目

この日は祝日だったので、全員でソミョンに行きました。新世界というデパートに行ったり、ビビンバを食べに行ったりしました。



9日目

この日は、授業が終わったら、K-popダンスを習いに行きました。難しかったけどとても楽しかったです。そのあとは自由時間で、南浦ドンまでご飯を食べに行って買い物をしました。



10日目

この日は、授業が終わってから、韓国の文化を体験できるところに行って、ビビンバを目の前で作ってもらって、ビビンバを食べました。たくさんの食材を使ってあって、とても体にいいそうです。味もよかったです。そのあとは、韓国の伝統的なアクセサリーと鏡

を作りに行きました。

夜はソミョンにあるおしゃれなカフェに行きました。この日は、ルームメイトの誕生日だったので、帰ってからみんなで寮の部屋でケーキのサプライズをしました。



11 日目

この日は授業が終わってから、班ごとに最終日のプレゼンテーションのための準備をしました。夕方からは野球を見に行きました。みんなでお揃いのTシャツを着て、チキンを食べながら応援して楽しかったです。この時の試合は、私たちが応援していたロッテジャイアンツが逆転優勝しました。



12 日目

最終日。最後の授業を受けてから、修了式がありました。今まで準備してきたプレゼンテーションの発表をしました。そのあとは、最後にみんなでご飯を食べに行きました。2週間ともに過ごしてきた仲間とは、この期間にとっても仲良くなったので、別れはとてつらかったです。



13 日目

帰国する日がやってきました。空港までは韓国人のスタッフたちが送ってくれました。スタッフのほとんどが見送りに来てくれました。韓国を離れるのはとても名残惜しいと感じるくらいいい思い出がたくさんできました。

参考までに

韓国の物価は日本より安かったです。特に交通費は安くて、バス・地下鉄・タクシーなどを利用して簡単に移動できます。食事や交通費、お土産代などを含めて韓国での生活は4

万円程度で収まりました。朝食は用意されていないのですが、学校近くのコンビニやパン屋、ライスバーガーのお店などがあるので困ることはありませんでした。また、持ち物として、洗濯洗剤、柔軟剤、洗濯ネット、変換プラグ、W i f i は用意していった方がいいと思います。

最後に

このプログラムに参加して、韓国人と日本人が交流して様々な刺激を受けました。多くのことを体験して、とても充実した週間となりました。もし、参加しようか迷っている人がいたら、ぜひ参加してほしいです。

2016年 Korean Summer Sessionに参加して

経済学部 1回生 浜崎菜由

韓国へ出発する日の朝は不安でいっぱいでした。初めて自分で予約した航空チケットが正しく発行されているのか心配でしたし、何か大切なものを忘れていたような気がして何度もスーツケースを開けては、持ち物を確認しました。韓国語を学んだことがなく、簡単な自己紹介を何とか覚えていただけだったため、韓国についてからの生活も不安でした。しかし、韓国の金海国際空港に到着して、迎えに来てくださっていた東亜大学の学生スタッフの皆さんが、寮まで行くタクシーの中で今後の予定などを日本語で説明してくださっているのを聞いているうちに、少しずつ不安は解消されていきました。学生スタッフの皆さんは、私たちが到着したその日のうちに「必要なものや忘れてしまったものがあれば買っておいたほうがいいたろう」とスーパーに連れて行ってくださったり、困ったことがあればすぐに助けてくださったり、本当に心優しい方々ばかりで、安心して2週間を過ごすことが出来ました。

プログラム期間中、午前は韓国語の授業を受けました。初日に行われた韓国語の筆記とオーラルテストの結果をもとに、初級クラス・中級クラス・上級クラスの3つのグループに分けられ、それぞれのレベルに合わせた授業を受けることが出来ます。私は初級クラスで、ハングルの書き方や読み方から学び始めました。文法や数字を習うときは、先生が簡単なゲームを交えながら教えてくださるので、韓国語を全く知らない私でも楽しく授業を受けることが出来ました。中級や上級クラスは主に実際の会話を学んでいたそうです。

午後は、韓国の文化を体験しました。太鼓や小さめの銅鑼を使う韓国の伝統音楽サムルノリを体験したり、k-p o pダンスを習ったり、博物館に行ったり、本当に様々なことを体験させていただきました。特に印象に残っているのがプロ野球観戦です。東亜大学の先生や学生を含めプログラム参加者全員で、東亜大学がある釜山のチームを応援しました。意味や振付を教わりながら応援したことや、チームが勝ったときみんなでハイタッチをしたことをよく覚えています。

2ヵ月という長い夏休みは、大学生だけが得られる特別なものだと思います。私は、大学1回生の夏にこのk o r e a n s u m m e r s e s s i o nに参加することが出来たことを、心から嬉しく思います。東亜大学のみなさんの優しさに触れ、ハングルを学び、様々な文化を体験した、この貴重な2週間を私は決して忘れません。東亜大学の学生をはじめ、このプログラムを支えてくださった方々に心から感謝しています。

2016 KOREAN SUMMER SESSION について

経営学部 1回生 工藤 七海

1. はじめに

私がこのプログラムに参加しようと思ったきっかけは、①韓国文化への興味②自分の使える言語を増やしたい③韓国人から日本、日本人への印象は日頃ニュースなどで報道されていることが正しいのだろうかということ自身で確かめたい、この3点です。

2. プログラム内容

私は1か月前頃から予約していた飛行機に乗って、同大学の2人と一緒に韓国に向けて飛び立ちました。私だけこの2人と班が違うとあって本当に不安でした。そしていよいよ入国！！出口を出るとKSSという看板を持った韓国人スタッフに迎えられました。初対面の私たち… ぎこちなさで一杯でした。笑

そして、早くも空港にて文化の違いを体感！！それは…お手洗いでのことです。トイレットペーパーを流さないんです。実はアジアではそのような国が多いそう。トイレットペーパーを流せるような水圧がないそうです。こうして早速ギャップを感じた後お迎えの車に乗り込みいざ寮へ。そこで衝撃的な事実が。2人1部屋の寮、またもや私だけ違う大学の方と同室に。この時、2週間も初対面の人と一緒に暮らしていけるのか…そのことで頭がいっぱいでした。そして初めての班顔合わせをして、1日目は終了しました。

ここからは午前中は韓国語講座になっていきます。2日目に学力テストがおこなわれ、その出来によってクラス分けをされます。そしていよいよ授業。1日3時間。東亜大学が用意してくださったテキストを中心に勉強していきます。途中、ゲームなどもします。私たちは担任の先生にゲームで勝ったのでジュースをご馳走になりました。笑

美味しかったー！！

最終日には確認テストがあり、その後クラス対抗でレクリエーションをしました。何かを学ぶことでこんなにも楽しいと思えたのは本当に久しぶりでした。とても刺激になりました。

午後は、韓国人スタッフとの行動&自由時間でした。韓国人スタッフとは本当に色々な所に行きました。釜山タワー、海雲台、南浦洞、西面…

本当に沢山の観光地や地元の人にしか分からないような穴場スポットなどなど…穴場スポットってどこかというところ…それは行ってみたいのお楽しみということにしておきますね。

自由時間ではすっかり仲良くなった韓国人スタッフと日本人学生でご飯を食べに行ったり買い物をしたり、公園でチキンを食べたり…数えきれない程の思い出を作ることができました。

3. KSS で学んだこと

何より日常生活の中での文化の差を学びました。韓国では先輩や上司など目上の方と乾杯してから、相手から自分の飲んでいる姿が見えないようにするのが常識なのだそうです。そして、日本ではラベルは見えるように注ぎますが、韓国ではラベルを隠すように注ぎます。

日本と全く違うなと感じたのが“定食”の概念です。日本の定食はご飯、お味噌汁、漬物、主菜という組み合わせだと思いますが…韓国の定食はもうおかずの種類がいっぱい!!! バイキングですか?! というレベル出てきます。しかも、おかわりし放題で800円という安さ!!! ここでも日本との差を感じました。

そしてこの2週間で身に沁みて感じたのが言葉や考え方、育った環境が異なっても友情は築けるということです。初めはお互い理解して歩み寄っていけるのかどうか心配でしたが、同じ時間を共有することで深い友情を築くことができました。

今回のKSSプログラムを通して、日本と韓国の文化の違いやお互いへの印象などを知ることが出来ました。2週間本当に充実したものになりました。